

株式会社ジェイコム千葉(浦安局・八千代局・木更津局)

2014年度 放送番組審議会 議事録

2014年度 放送番組審議会は、2015年4月21日(火)にジェイコム千葉 浦安局で開催された。

<放送番組審議会委員>

ご出席 (五十音順)

大 木 均 様 工 藤 渡 様 佐 藤 淳 一 様
三 宅 利 正 様 李 程 英 様

ご欠席

西 村 文 明 様 皆 見 隆 明 様

事業者側から現況報告及び J:COM チャンネルの取り組みにつき、報告があった。

【審議 質疑応答】(三宅会長による進行)

(健康増進の番組化)

委員 高齢者がますます増える社会になる。高齢者にも自分の健康を自分で守るという機運が出てきている。そうした中で、高齢者の健康に寄与できる番組化を望む。

例えば、膝や腰が痛くなったら、どういった運動、体操をしたらいいのか、アドバイスするような番組があればいい。

事業者 高齢者向けの健康番組については、前向きに検討したい。

(音声聞きづらい番組、新 STB の課題)

委員 番組のキャスターは、固定されているので、キャラクターが定まってきており、安心して視ていられる。

ひとつ気になったことだが、料理番組『かずさの献立Ⅱ』の音声がこもっているように感じた。他の番組と比べても明らかにこもっている。これにより、料理の美味しさが伝わりにくくなる

のは、惜しい。

スマート TV ボックス(黒ボックス)は、ユーザーインターフェイスが今一つである。

ドラマを続けて録画した際、番組が連続して再生出来ない、時間追従が出来ないなど家族にも評判が悪い。再生中にハードディスクが固まったりもした。

ソフトウェアの改善が必要と感じる。

全日本鍋グランプリで八千代市が初めて日本一となった。地元でもこれをネタにと考えている中で、番組にタイムリーに取り上げてもらったのは嬉しい。

J:COM は、地域ナンバーワンだけでなく、“オンリーワン”も目指して欲しい。

事業者 音声の問題は、マイク、音声など技術的な要因かと思われる。

番組担当とも確認しながら、装置の問題があるかもしれないが、適宜、改善を図りたい。

(「安心安全」の情報発信を評価、語学が学習できるドラマ希望)

委員 「安心・安全」の情報の発信は有難い。

今後も防災情報で細かいところまで流して欲しい。

買い物サポートサービスは、期待している。買い物中、チラシに掲載されている商品を探すのは面倒だから、楽になるかもしれない。

英語など語学を学習できるようなドラマがあればいい。

(番組演出の評価)

委員 番組のカメラワーク、テロップの入れ方などは、2、3年前に比べて良くなった。

(地元地域の交通、災害情報の強化)

委員 NHK のテロップでは、地元沿線の京葉線情報などは薄いと感じる。

安心・安全でいえば、身近な交通情報は、日常的に市民の関心が高い。地元のマスコミとして、一層力点を置いて欲しい。

事業者 L字のデータ放送では、お住まいの郵便番号を設定することで、よく利用する在来線の優先順位が高く掲出されるようになっている。ご活用いただきたい。

災害情報では、どう情報を集めるかに主眼を置いており、ルートを作るのが重要である。

行政によって、情報発信の温度差がある。

「公共コモンズ」という情報発信のネットワークシステムがあるが、千葉県下でも今年3月から始まった。何かあれば、J:COM でもそこから情報を入手することになる。各自治体も発信する責任を問われており、当社も連携して情報を入手したい。

報告事項(事業者)

昨年 12 月に、当社が自主放送しているCS番組「スペースシャワーTV」内で、番組自主基準に抵触する映像手法(光点滅)が用いられていたことが判明し、放送法に抵触するものとして、2 月 27 日付で総務省より行政指導を受けた旨の経緯および内容説明を行った。これを受けて、当社の再発防止に向けた取り組みを報告した。

委員からは、特に質問事項はなかった。

以上